

- 1 だいいくは、一ぎようめに、学校・学年・組、名まえは一ぎようめに書き、文しよは、三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくしよにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをでうえましよう。

（ ） 月 日 曜日

げきを楽しむ町にしたい

ぼくは、げきをたくさんの人が楽しんでく
 れる町にしたいです。なせかというと、ぼく
 がげき団つげたんはに入っているからです。
 入っているというよりも、「ゴンザ」という
 げきに、子どもが必要だったらしく、それに
 ぼくが手をあげたからです。

去年、初めてぶたいに出ました。ぼくは、
 名古屋から転校してきたところだったの
 鹿見島弁でしゃべるセリフは、とてもきょう

味がありました。子どもが主役みたいなもの
 なので、ぼくのセリフは思ったより、多か
 たです。練習では、セリフまちがえても、み
 んなで笑いながら優しく教えてもらいました。
 今年も「ゴンザ」ですが、演じる場面が変
 りました。「ゴンザ」というげきは、本当
 にあった話です。「ゴンザ」と「ソウザ」が
 ひょう流して、ロシア語と日本語をつなぐ
 日辞典を世界で初めて作った人の話です。

4、と、は、それぞれ一字にかえて、「マス」の中に書きましよう。
 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

- 1 だいくは、一きようめに、学校・学年・組、名まえは二きようめに書き、文しうは、三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらく(く)にきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそえましよう。

月 日 曜日

ぼくが、企画したいのは、よりたくさんの人に、げきをみにきて楽しんでもらうような町にする事です。

一つ目は、チラシ大作戦です。これまではチラシを配るだけでしたが、こんな作戦を考えました。出演する人の強味を生かします。

①「おいたっ」も出ます「ぼくらも出ます」
 ②「はがいか」へくやし「ずんばい」へたくさん「よんごひんご」へくねくね曲っている様子「てんからもん」へまりこう

「ぎばれ」へ「がくはれ」

など、鹿兒島弁でセリフを言うので楽しいです、と言葉をそえ、チラシをもらう人は、きつと行ってみたいなあと思うはずです。

二つ目は、チラシを売ると「た人が、さらにだれかに伝えてもらうために、ぼくたちの小さな名しを作る作戦です。その名しには、

自分の名前やげきの役おりの名前とか、自分のかん単な顔絵とか書きます。ぼくは絵をかくのは苦手だけれど、上手な仲間がいま

4 、「と」は、それぞれ一字にかきえて、「マス」の中に書きましよう。
 5 おはなした(く)は、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

- 1 だいたいは、一きょうめに、学校・学年・組、名まえは二きょうめに書き、文しよは、三きょうめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくごとくにぎやみをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのぎょうも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

（ 月 日 曜日）

鹿兒島弁のコメントも一言つけ足します。たとえば「ギバレ」「よんごひんづし」てんからもんし「ずんはい」など書けば、鹿兒島の方言のよさも伝わり、みんながもっと鹿兒島の歴史について知りたくなると考えました。三つ目は、テレビ局とか新聞社に表敬訪問を、大人たちだけでなくて、ぼくたち子ども一しよに連れていってもらう作戦です。去年は、終おつてからニュースに出ていましたか、げきをする前にニュースにした方が、たくさんの人が見に来てくれます。この企画が実現したら、県民交流センターの中ホールが満席になるはず。町の人たちが鹿兒島のすてきな歴史を知って、ほくたすのげきを楽しんでくれたらうれしいです。

- 4 、と、は、それぞれ一字にかえて、「マス」の中に書きましょう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎょうをかえ、おはなしただけを書きましょう。

